



## 千葉県看護協会

### 「令和5年度 看護職定着確保動向調査（求職者）」結果概要

離職理由は「健康上の理由」28.1%、「他分野への興味」15.6%、「人間関係」15.6%

#### 調査の概要

調査目的	離職中の看護職の就業意向や希望する勤務条件等を把握し、今後の看護職の定着確保対策の基礎資料を得る
調査対象	千葉県ナースセンターに登録の未就業看護職
調査時期	令和5年5月12日～令和5年5月31日
調査方法	調査依頼を郵送し、千葉県看護協会ホームページのアンケート機能を活用したWeb調査
回収状況	配布数：170名 回答数：32名 回答率：18.8%

#### 調査結果のポイント

##### 1. 回収状況と回答者の属性

- 今年度は170名に配布し、回答数は32名で、回答率は18.8%であった。前年度は、返信用封筒を同封した調査票を429名に郵送・配布し、回収数は65名で、回収率は15.2%であった。比較し、3.6ポイント増加した。
- 性別は、「女性」100.0%、「男性」0.0%であった。
- 年齢は、「50代」が34.3%と最も多く、次いで「40代」25.0%、「30代」21.9%の順であった。
- 居住地区は、同率で「千葉地区」「船橋地区」21.8%が最も多く、次いで「東葛地区」18.8%の順であった。
- ブランク期間は、「0～3年」の71.9%が最も多く、次いで「11年以上」15.6%、「4～5年」3.1%の順であった。

##### 2. 離職時の職種、雇用形態、勤務形態

- 離職時の職種は、「看護師」が最も多く90.6%、次いで「助産師」6.3%、「准看護師」3.1%の順であった。
- 離職時の雇用形態は、「正規職員」が最も多く68.7%、次いで「非常勤職員」25.0%、「派遣」6.3%の順であった。
- 離職時の勤務形態は「日勤のみ」が最も多く50.0%、次いで「短時間勤務」が21.8%、「二交代制」18.8%の順であった。

##### 3. 看護業務の通算勤務年数、離職直前の施設での勤務年数

- 看護業務の通算勤務年数は、「20年以上」が最も多く34.3%、次いで「10～14年」18.8%、「1～3年」15.6%、「15～19年」12.5%の順であった。

表1 看護業務の通算勤務年数

1年未満	1～3年	4～6年	7～9年	10～14年	15～19年	20年以上
2	5	3	1	6	4	11
6.3%	15.6%	9.4%	3.1%	18.8%	12.5%	34.3%

○離職直前の施設での勤務年数は、「1～3年」が最も多く31.2%、次いで「1年未満」25.0%、「10～14年」15.6%の順であった。

#### 4. 離職理由

○離職理由は、「健康上の理由」が最も多く28.1%、次いで同率で「他分野への興味」「人間関係」15.6%、次いで同率で「出産育児子供のため」「自分の適性能力への不安」「看護内容への不満」12.5%であった。

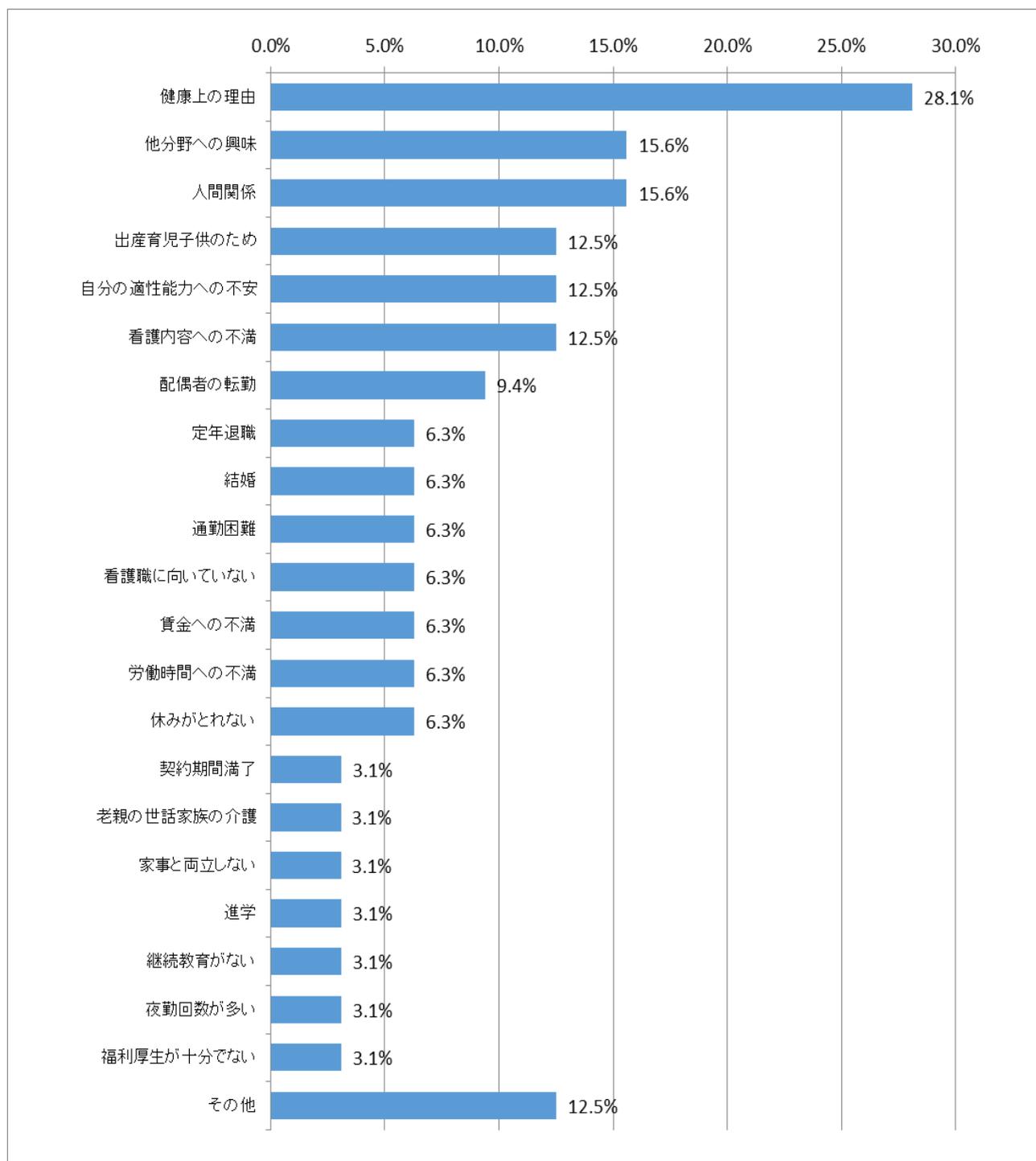


図1 離職理由

#### 5. 人間関係が難しかった相手

○離職理由で「人間関係」を選択した人に人間関係が難しかった相手を尋ねると、「同僚」が最も多く80.0%、次いで「他の専門職」40.0%、同率で「先輩」「師長等中間管理職」「一般職員」20.0%であった。

## 6. 「看護内容への不満」の具体的理由

○離職理由を「看護内容への不満」と回答した具体的理由は、同率で「患者とのコミュニケーションに時間が取れない」「看護体制が整っていない」50.0%が最も多かった。

## 7. 「賃金への不満」の具体的金額

○離職理由を「賃金への不満」と回答した2名の退職時金額と希望金額は、退職時時給1,568円だが、1,800円を希望、退職時給与の記載はないが、月給30万円希望であった。

## 8. 就業条件

○就業条件は、「休みがとりやすい」が最も多く50.0%、次いで同率で「柔軟な勤務形態の導入」、「通勤に便利な職場」31.3%、次いで「超過勤務が少ない」「自分の希望する給与」25.0%の順であった。

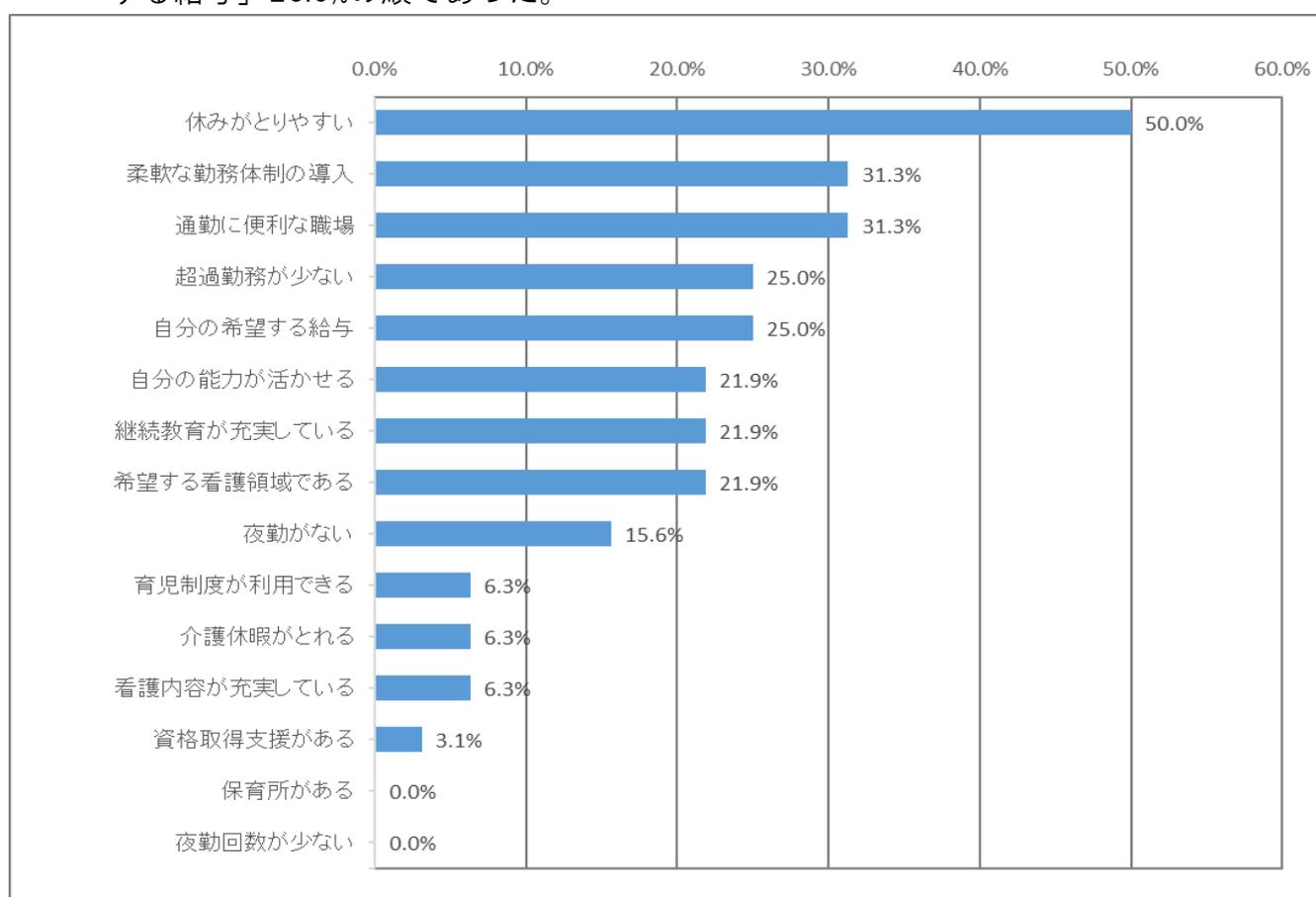


図2 希望の就業条件

## 9. 求人情報の冊子の利用について

○求人情報の冊子の利用については、同率で「利用している」「利用していない」が50.0%であった。利用していない理由は、「知らなかった」3件、「希望する情報がない」2件であった。

# 令和5年度 看護職の定着確保動向調査結果 — 求職者対象 —

## I. 調査概要

調査目的	離職中の看護職の就業意向や希望する勤務条件等を把握し、今後の看護職の定着確保対策の基礎資料を得る
調査対象	千葉県ナースセンターに登録の未就業看護職
調査時期	令和5年5月12日 ～ 令和5年5月31日
調査方法	調査依頼を郵送し、千葉県看護協会ホームページのアンケート機能を活用したWeb調査
回収状況	配布数：170名 回答数：32名 回答率：18.8%

## II. 調査結果

### 1. ブランク期間

ブランク期間は、「0～3年」の71.9%が最も多く、次いで「11年以上」15.6%、「4～5年」3.1%の順であった。

<表1> ブランク期間 (n= 32)

0～3年	4～5年	6～10年	11年以上	無回答
23	1	0	5	3
71.9%	3.1%	0.0%	15.6%	9.4%

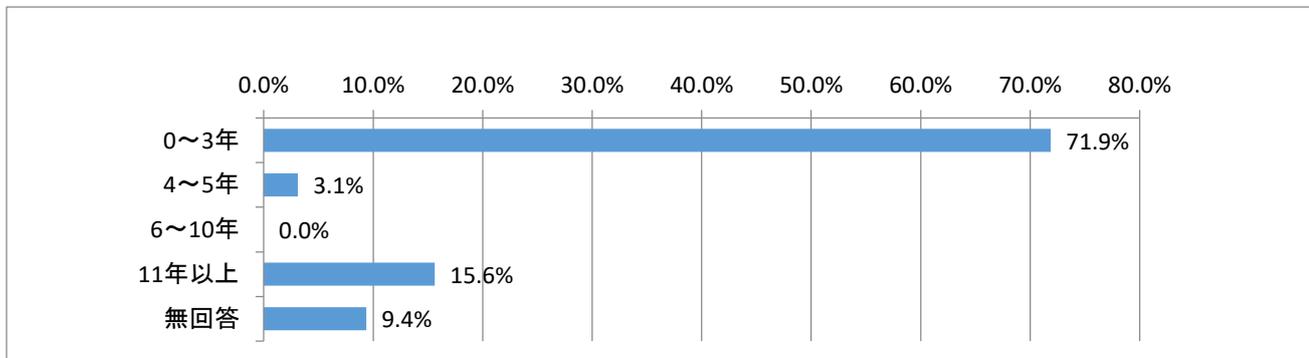


図1 ブランク期間

### 2. 居住地区

居住地区は、同率で「千葉地区」「船橋地区」21.8%が最も多く、次いで「東葛地区」18.8%の順であった。

<表2> 住所 (n= 32)

千葉	市原	船橋	市川	松戸	東葛
7	3	7	2	1	6
21.8%	9.4%	21.8%	6.3%	3.1%	18.8%

印旛	利根	山武	長夷	君津	安房	県外
2	1	0	2	1	0	0
6.3%	3.1%	0.0%	6.3%	3.1%	0.0%	0.0%

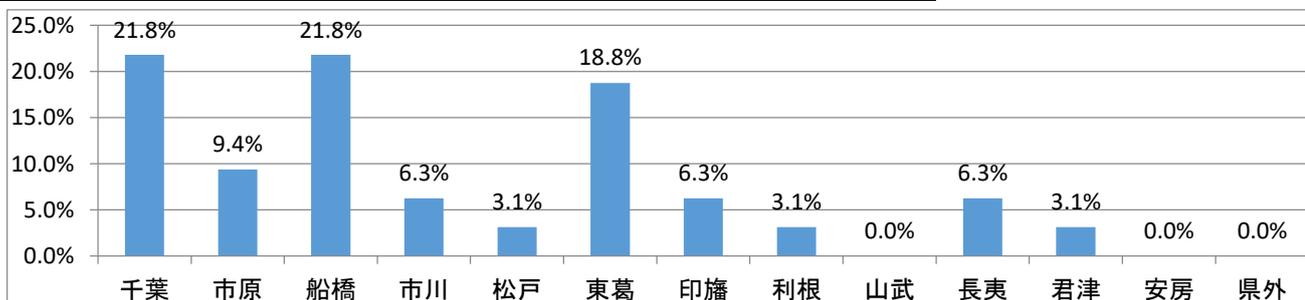


図2 回答者 居住地区

### 3.年齢

年齢は、「50代」が34.4%と最も多く、次いで「40代」25.0%、「30代」21.8%の順であった。

<表3> 年齢 (n= 32)

20代	30代	40代	50代	60代	70代
2	7	8	11	3	1
6.3%	21.8%	25.0%	34.4%	9.4%	3.1%

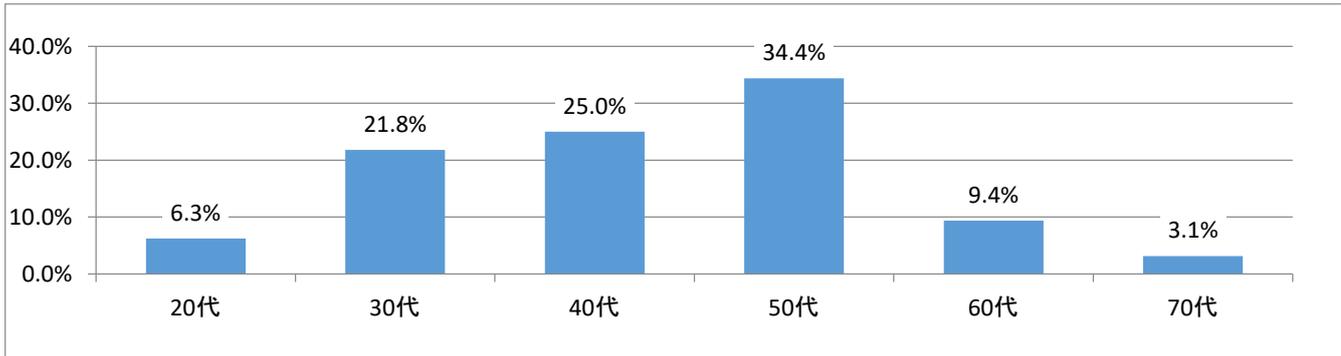


図3 年齢

### 4.性別

性別は、「女性」100.0%、「男性」0.0%であった。

<表4> 性別 (n= 32)

女性	男性
32	0
100.0%	0.0%

### 5.離職時の職種

離職時の職種は、「看護師」が最も多く90.6%、次いで「助産師」6.3%、「准看護師」3.1%の順であった。

<表5> 離職時の職種 (n= 32)

保健師	助産師	看護師	准看護師
0	2	29	1
0.0%	6.3%	90.6%	3.1%

### 6.離職時の雇用形態

離職時の雇用形態は、「正規職員」が最も多く68.7%、次いで「非常勤職員」25.0%、「派遣」6.3%の順であった。

<表6> 離職時の雇用形態 (n= 32)

正規職員	非常勤職員	派遣
22	8	2
68.7%	25.0%	6.3%

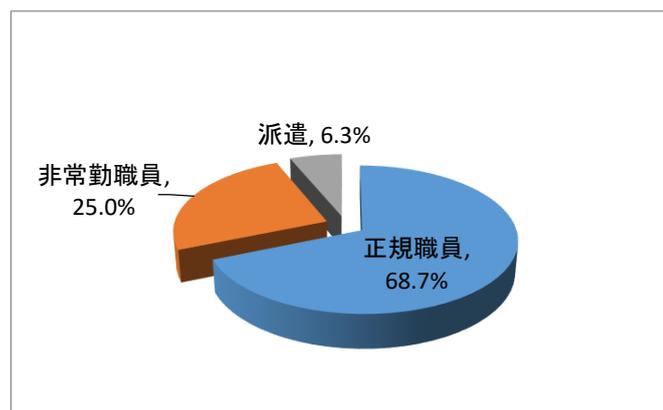


図4 離職時の雇用形態

## 7.離職時の勤務形態

離職時の勤務形態は「日勤のみ」が最も多く50.0%、次いで「短時間勤務」が21.8%、「二交代制」18.8%の順であった。

<表7> 離職時の勤務形態 (n= 32)

日勤のみ	三交代制	二交代制	短時間勤務	夜勤のみ
16	3	6	7	0
50.0%	9.4%	18.8%	21.8%	0.0%

## 8.看護業務の通算勤務年数

看護業務の通算勤務年数は、「20年以上」が最も多く34.3%、次いで「10～14年」18.8%、「1～3年」15.6%、「15～19年」12.5%の順であった。

<表8> 看護業務の通算勤務年数 (n= 32)

1年未満	1～3年	4～6年	7～9年	10～14年	15～19年	20年以上
2	5	3	1	6	4	11
6.3%	15.6%	9.4%	3.1%	18.8%	12.5%	34.3%

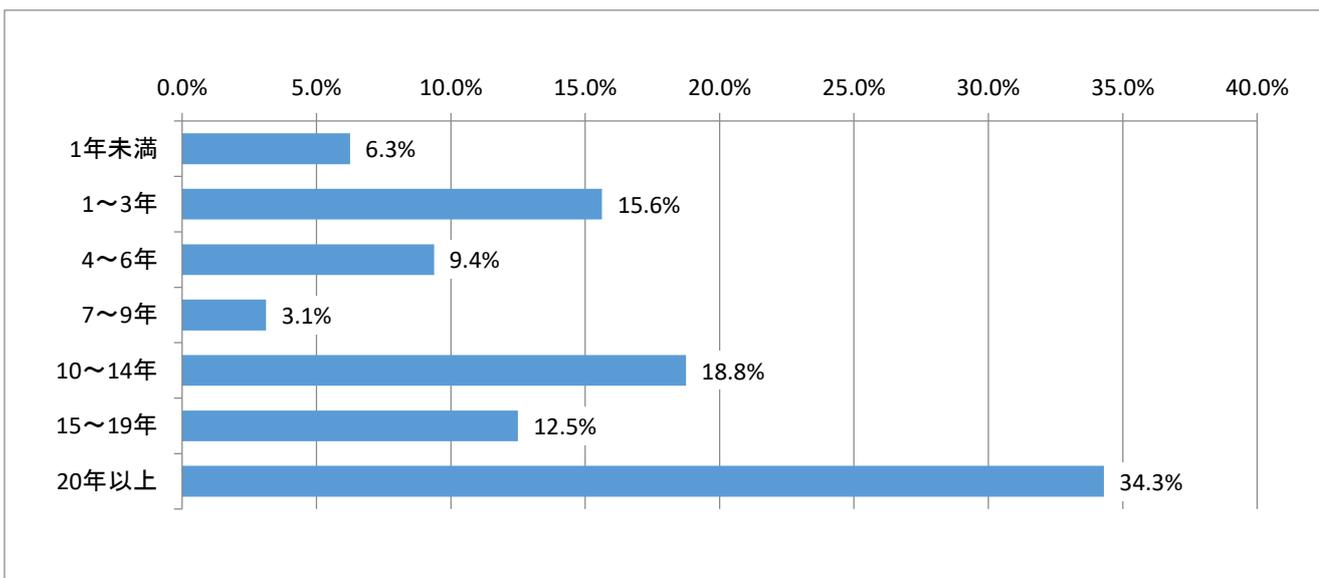


図5 通算勤務年数

## 9.離職直前の施設での勤務年数

離職直前の施設での勤務年数は、「1～3年」が最も多く31.2%、次いで「1年未満」25.0%、「10～14年」15.6%の順であった。

<表9> 離職直前の施設での勤務年数 (n= 32)

1年未満	1～3年	4～6年	7～9年	10～14年	15～19年	20年以上
8	10	2	2	5	4	1
25.0%	31.2%	6.3%	6.3%	15.6%	12.5%	3.1%

## 10.離職理由(複数回答)

離職理由は、「健康上の理由」が最も多く28.1%、次いで同率で「他分野への興味」「人間関係」15.6%、次いで同率で「出産育児子供のため」「自分の適性能力への不安」「看護内容への不満」12.5%であった。

<表10> 離職理由(複数回答・3つまで)

(n= 32)

健康上の理由	他分野への興味	人間関係	出産育児子供のため	自分の適性能力への不安	看護内容への不満	配偶者の転勤	定年退職	結婚	通勤困難
9	5	5	4	4	4	3	2	2	2
28.1%	15.6%	15.6%	12.5%	12.5%	12.5%	9.4%	6.3%	6.3%	6.3%

看護職に向いていない	賃金への不満	労働時間への不満	休みが取れない	契約期間満了	老親の世話家族の介護	家事と両立しない	進学	継続教育がない	夜勤回数が多い
2	2	2	2	1	1	1	1	1	1
6.3%	6.3%	6.3%	6.3%	3.1%	3.1%	3.1%	3.1%	3.1%	3.1%

福利厚生が十分でない	その他
1	4
3.1%	12.5%

### <その他>

- ・病気罹患により看護職としての就業が困難。
- ・スタッフ人数からの不安、自身の年齢も含め。
- ・診療業務縮小により常勤雇用ができないとのことで会社都合による退職。

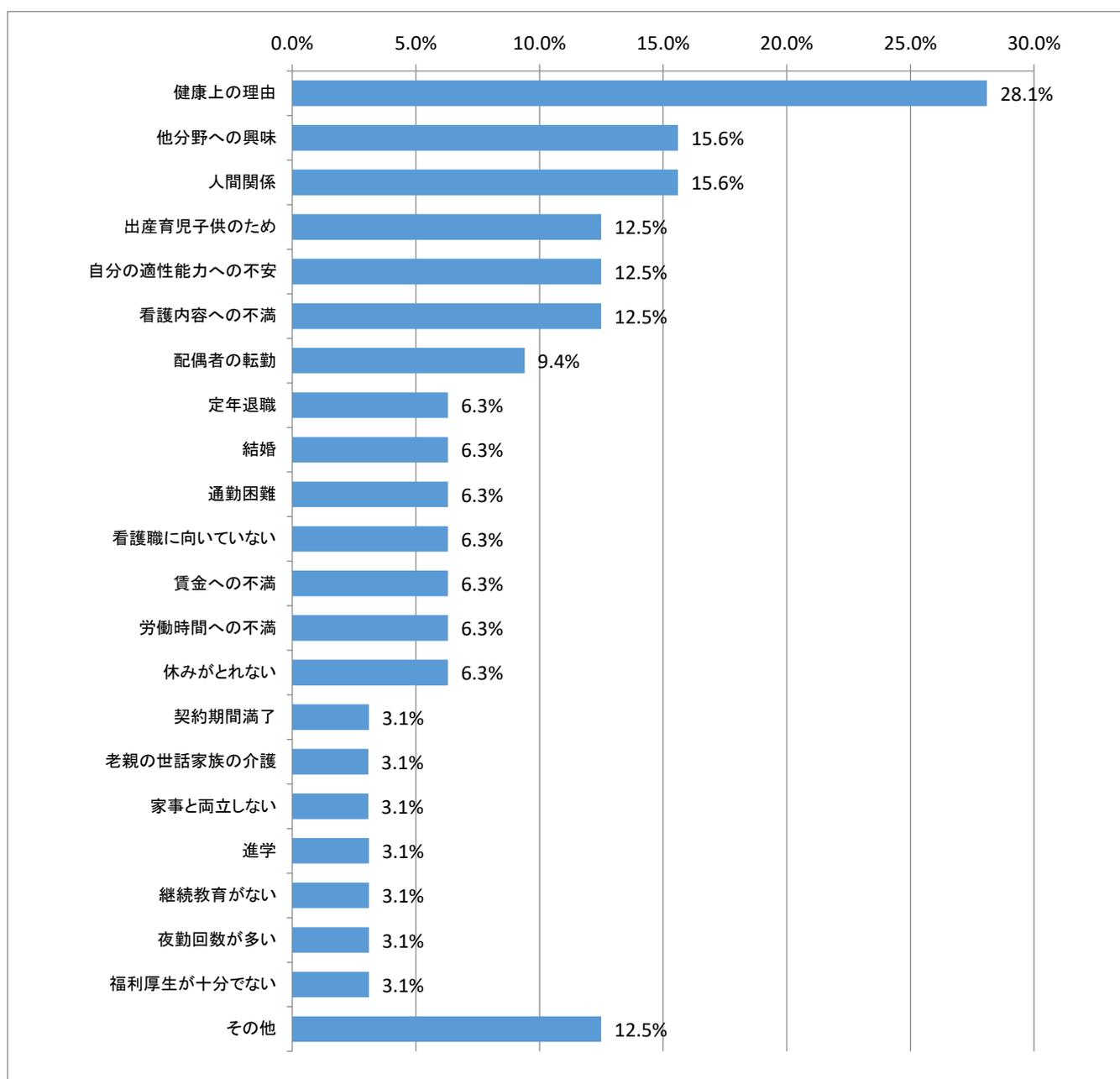


図6 離職理由

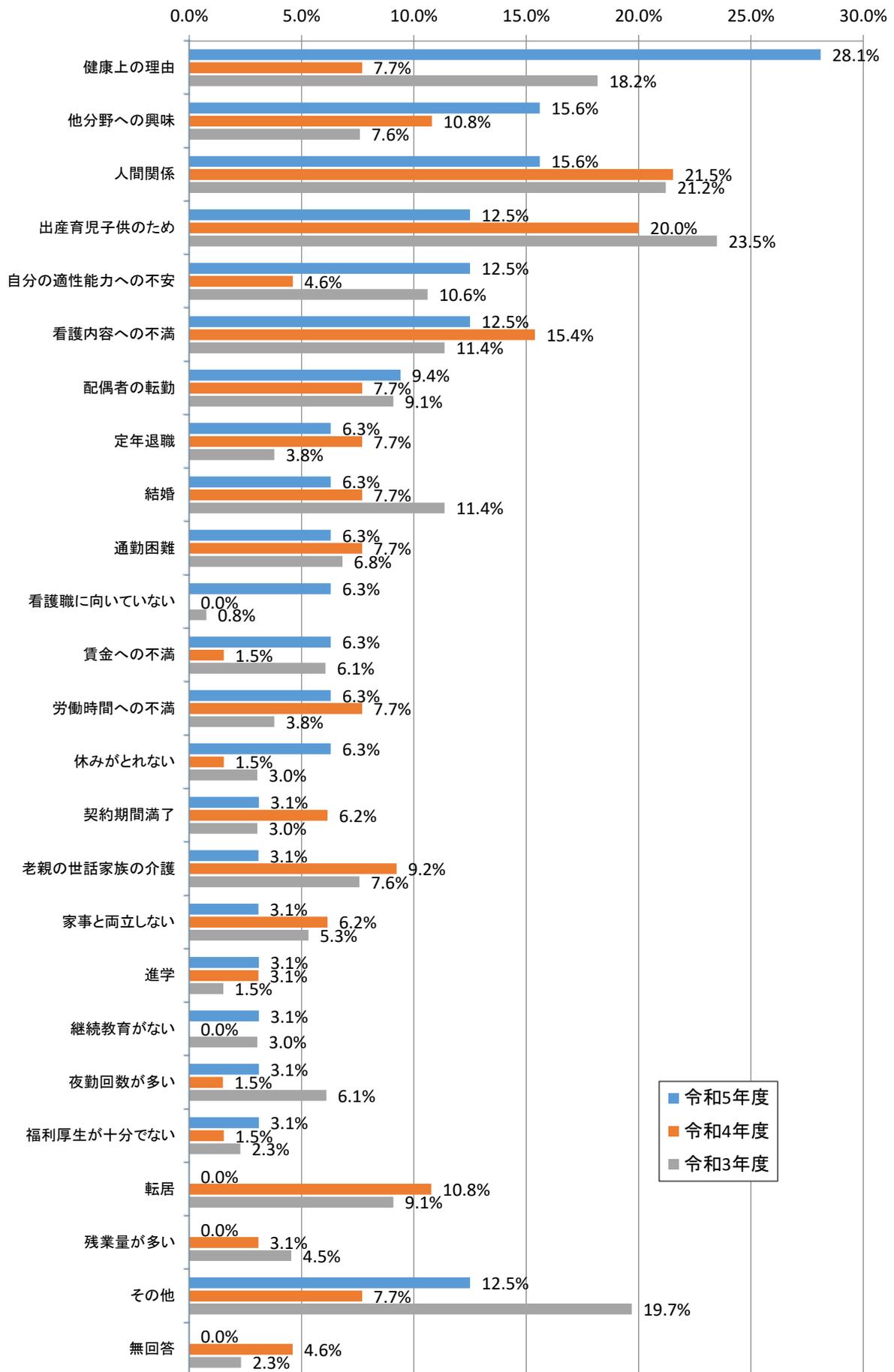


図7 離職理由(3年推移)

## 11.人間関係が難しかった相手（問10で選択）

人間関係が難しかった相手を探ねると、「同僚」が最も多く80.0%、次いで「他の専門職」40.0%、同率で「先輩」「師長等中間管理者」「一般職員」20.0%であった。

<表11> 人間関係が難しかった相手（複数回答） (n=5)

同僚	他の専門職	先輩	師長等中間管理者	一般職員	看護管理者	医師	患者	その他
4	2	1	1	1	0	0	0	0
80.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

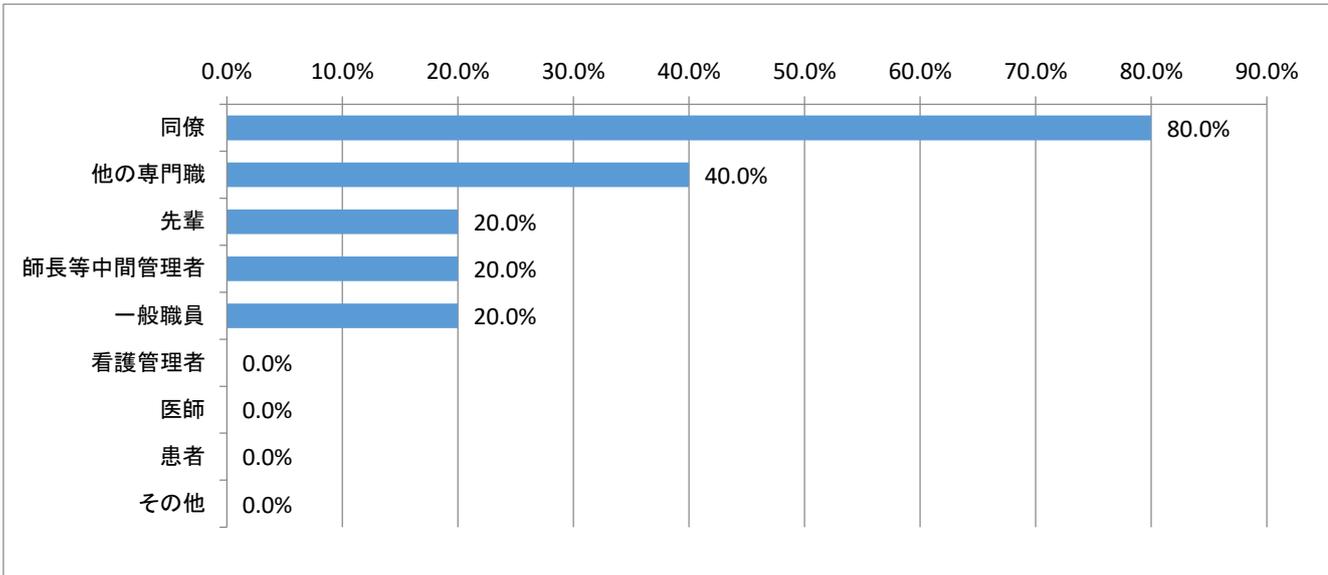


図8 人間関係が難しかった相手

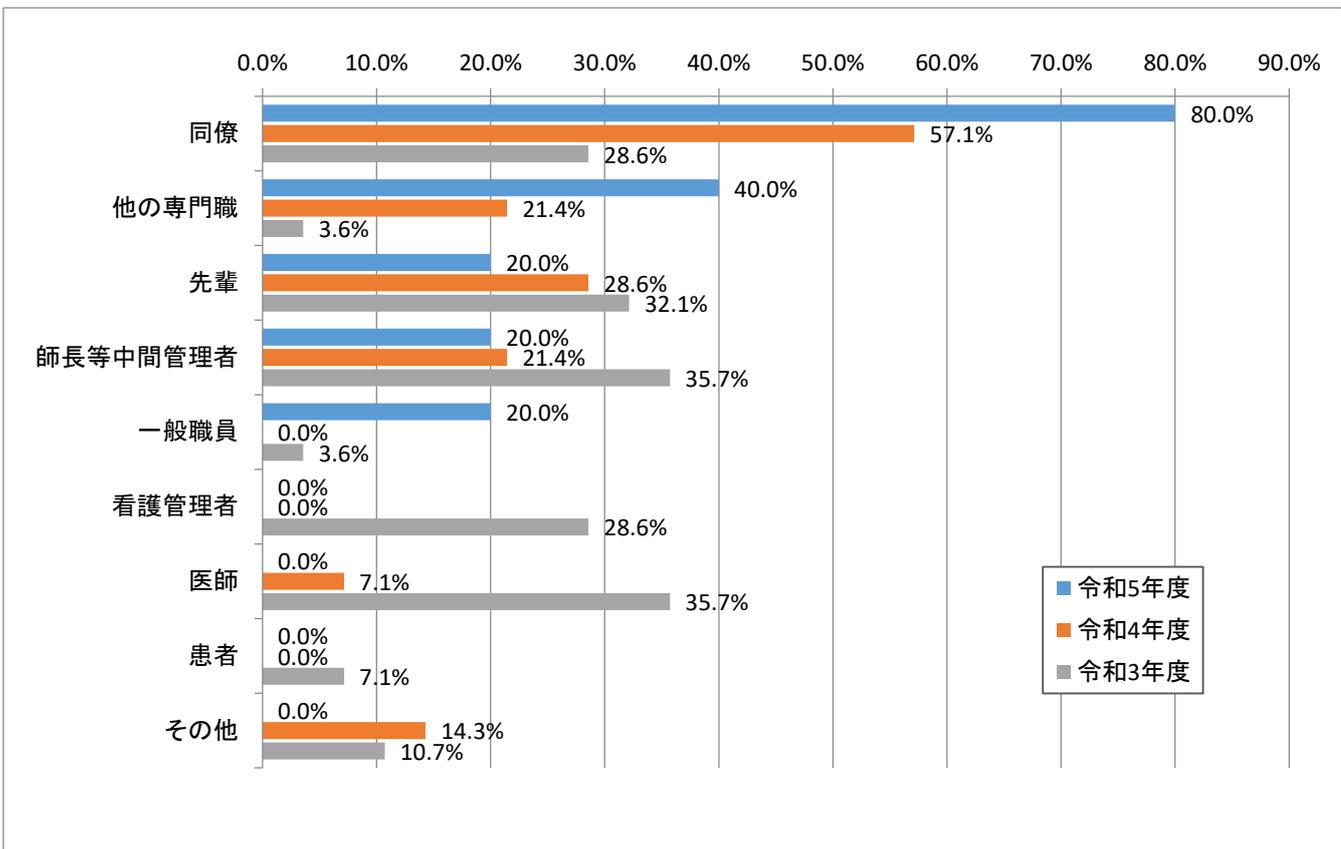


図9 人間関係が難しかった相手(3年推移)

## 12. 「看護内容への不満」の具体的理由（問10で選択）

離職理由を「看護内容への不満」と回答した具体的理由は、同率で「患者とのコミュニケーションに時間が取れない」「看護体制が整っていない」50.0%が最も多かった。

<表12> 「看護内容への不満」の具体的理由(複数回答) (n=4)

患者とのコミュニケーションに時間が取れない	看護体制が整っていない	看護業務以外の仕事が多い	医療処置が多い	委員会・勉強会など時間外が多い	その他
2	2	1	0	0	1
50.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%

その他  
・仕事量が少なくてやることがなかった

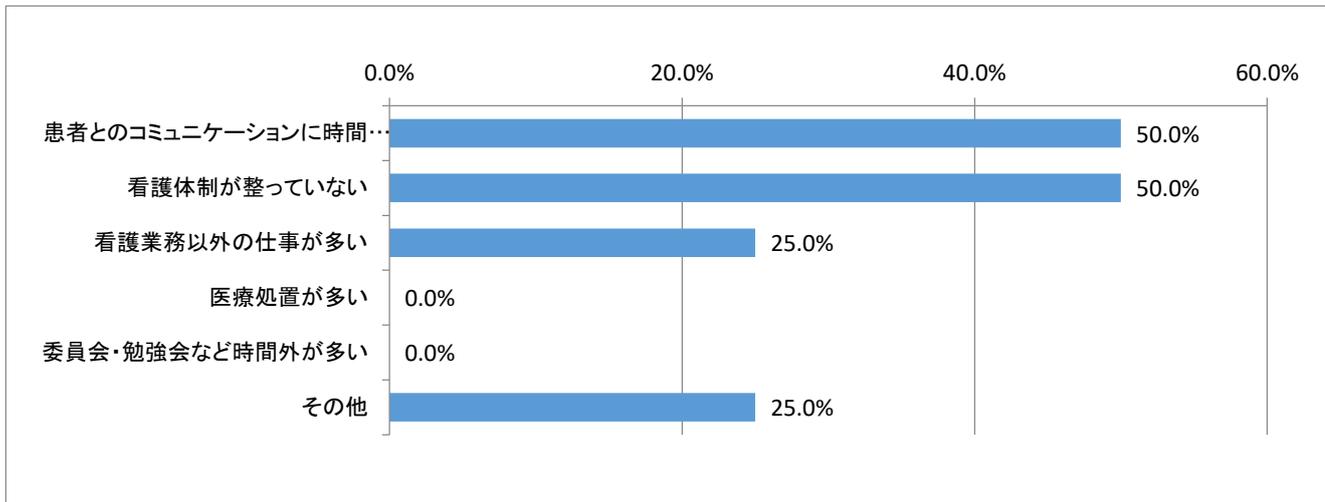


図10 看護内容への不満

## 13. 「賃金への不満」の具体的金額（問10で選択）

離職理由を「賃金への不満」と回答した2名の退職時金額と希望金額は、退職時時給1,568円だが1,800円を希望、退職時給与の記載はないが月給30万円希望であった。

## 14. 就業条件（複数回答）

就業条件は、「休みがとりやすい」が最も多く50.0%、次いで同率で「柔軟な勤務形態の導入」、「通勤に便利な職場」31.3%、次いで「超過勤務が少ない」「自分の希望する給与」25.0%の順であった。

<表13> 就業条件(複数回答・主な要件3つまで) (n=32)

休みがとりやすい	柔軟な勤務形態の導入	通勤に便利な職場	超過勤務が少ない	自分の希望する給与	自分の能力が活かせる	継続教育が充実している	希望する看護領域である	夜勤がない	育児制度が利用できる
16	10	10	8	8	7	7	7	5	2
50.0%	31.3%	31.3%	25.0%	25.0%	21.9%	21.9%	21.9%	15.6%	6.3%

介護休暇がとれる	看護内容が充実している	資格取得支援がある	保育所がある(夜間保育含む)	夜勤回数が少ない
2	2	1	0	0
6.3%	6.3%	3.1%	0.0%	0.0%

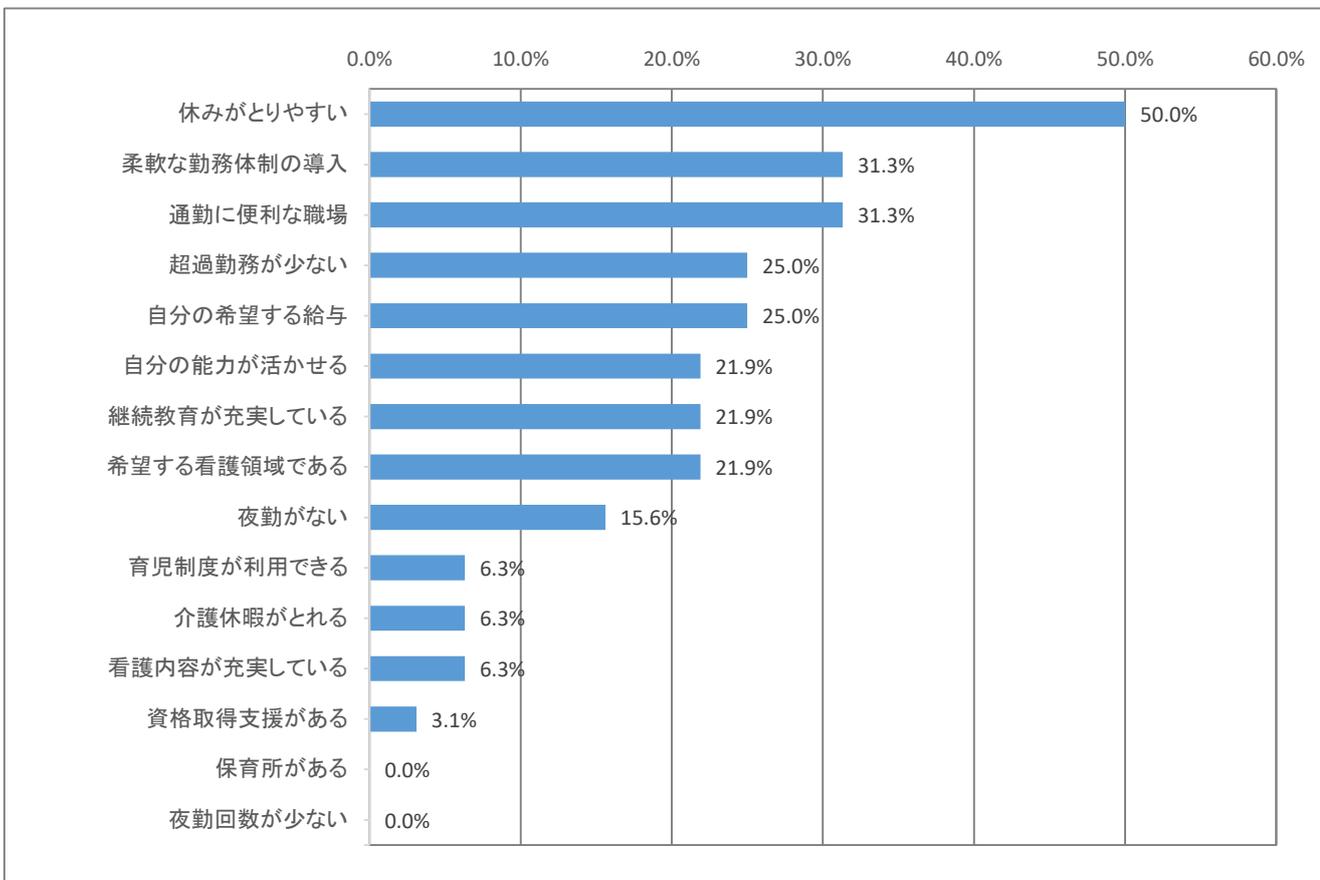


図11 就業条件

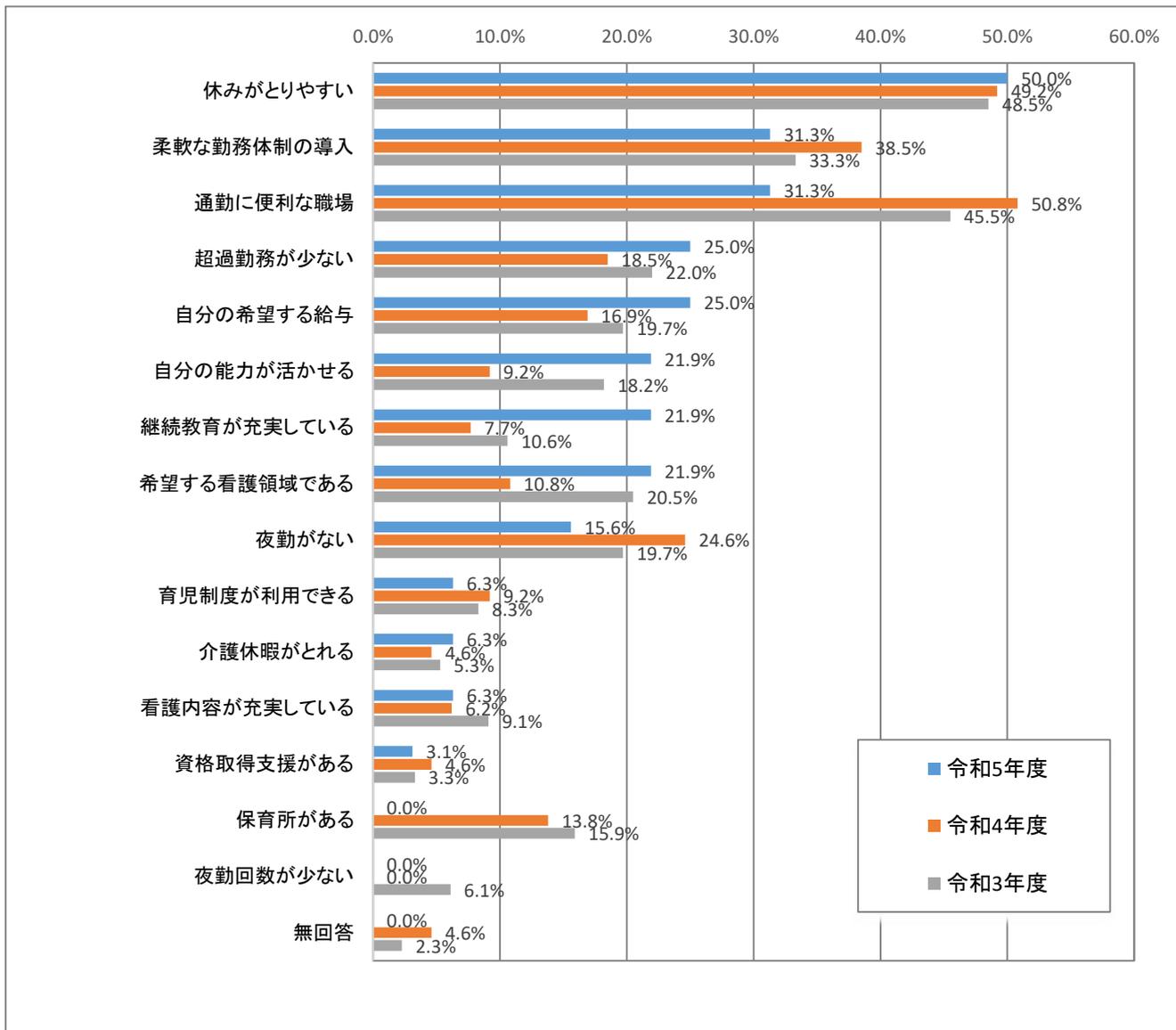


図12 就業条件(3年推移)

## 15.再就業に向けて希望する研修

再就業に向けてどのような研修を希望するか自由記載で問うたところ、11件の回答があった。

- ・感染予防対策、PPE、問診の取り方、急変時の対応方法各2件
- ・メンタルケア2件
- ・資格試験対策など
- ・看護記録の現状
- ・電子カルテ
- ・三方活栓の使い方、輸液ポンプ等
- ・透析や内視鏡検査
- ・皮下点滴
- ・人工呼吸器使用中の患者の看護

## 16.求人情報の冊子の利用について

求人情報の冊子の利用については、同率で「利用している」「利用していない」が50.0%であった。利用していない理由は、「知らなかった」3件、「希望する情報がない」2件であった。

<表14> 求人情報の利用 (n=32)

利用している	利用していない
16	16
50.0%	50.0%

利用していない理由

- ・知らなかった3件
- ・希望する情報がない2件
- ・ネットを利用している
- ・具体的情報を載せてほしい